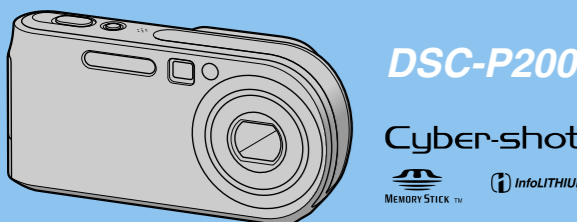


はじめにお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。
本書と別冊の「安全のために」「サイバースhoot取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読み
のうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してく
ださい。



あわせてご覧ください。

取扱説明書「活用編・困ったときは」(別冊)
進んだ活用法と、困ったときの解決方法などを説明します。

サイバースhootの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの
接続方法など)はこちらのホームページから。
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

この説明書は100%古紙再生紙と
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物
油性インキを使用しています。



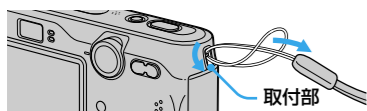
2634580010

付属品の確認をしてください

- 万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
- ACアダプター AC-LS5/LS5B(1)
- 電源コード(1)
- リチャージャブルバッテリーパック NP-FR1(1)
- リストストラップ(1)
- サイバースhootアプリケーションソフトウェア(1)
- サイバースhoot取扱説明書はじめにお読みください(本書)(1)
- サイバースhoot取扱説明書活用編・困ったときは(1)
- 安全のために(1)
- 保証書(1)
- バッテリーケース(1)
- マルチ端子専用USB・A/Vケーブル(1)

ご使用前に行ってください

- はじめにお使いになるときは、付属のバッテリー NP-FR1を充電してください。
- 本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶつけたり、無理な力をかけないでください。また、落下防止のため、リストストラップを取り付けてご使用ください。



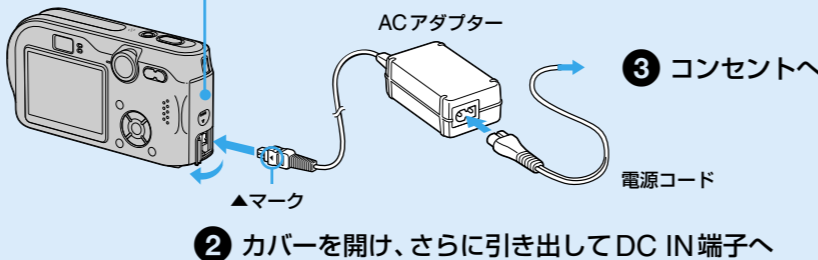
■ サイバースhoot公式サイト
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/>

■ 使用上での不明な点や技術的なご質問
テクニカルインフォメーションセンター
電話：0564-62-4979 (おかけ間違いにご注意ください。)
受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時(年末/年始/祝日を除く)

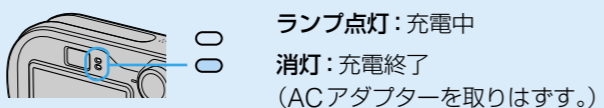
1 バッテリーを充電する

必ず本機の電源を切った状態で充電してください。

① バッテリーを入れる。



充電表示



- 付属のバッテリーを使い切ってから、満充電まで温度25℃で約200分です。使用状況や環境によっては、長くなります。
- フラッシュの充電中もランプが点灯します。

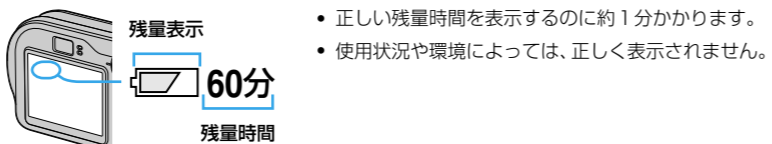
コンセントの電源で本機を使うときは

上図のように本機をコンセントにつないだまま使う。

- ACアダプターはお手近なコンセントにつないでください。不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜いてください。
- 使い終わったら、ACアダプターを本機とコンセントから取りはずしてください。
- 電源を切ってもコンセントにつないである限りAC電源は遮断されません。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。

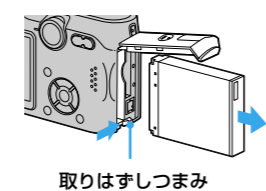
バッテリーの残量を確認するときは

POWER ボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。



バッテリーを取り出すときは

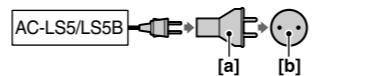
カバーを開け、バッテリー取りはずしつまみを矢印の方向に押す。バッテリーが落下しないようにご注意ください。



海外で使うときは

付属のACアダプター AC-LS5/AC-LS5Bは全世界(AC100V ~ 240V・50/60Hz)で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。

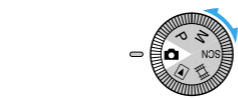
コンセントの形状例		主に北米
		主にヨーロッパなど
変換プラグアダプター	不要	



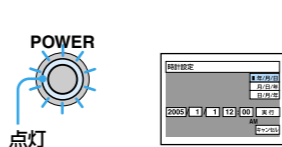
- 変換プラグアダプター [a]/電源コンセント [b]の形状は国や地域によって異なります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は故障の原因となるので使わないでください。

2 電源を入れ、時計を合わせる

① モードダイヤルを「CAM」にする。

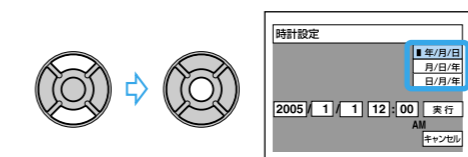


② POWER ボタンを押す。

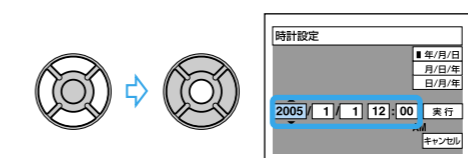


③ コントロールボタンで、時計を合わせる。

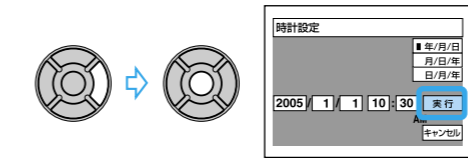
1 ▲/▼で日付表示順を選び、●で決定する。



2 ▲/▼で設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定して●で決定する。



3 ►で[実行]を選び、●で決定する。



- 時計合わせを中止するには、[キャンセル]を選んで、●を押す。

時計合わせをやり直すときは

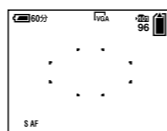
☰(セットアップ)メニュー画面で[時計設定]を選び、手順③を行う。
→別冊「活用編・困ったときは」50ページ

時刻表示について

- 手順②-1で[日/月/年]を選んだときは、24時間表示になります。
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMと表示されます。

電源を入れたときのご注意

- 時計合わせをしないと、電源を入れるたびに時計設定画面が表示されます。
- カバーが開きレンズ部が動くので、レンズ部に触れないでください。また、電源を切った状態でレンズが出たまま長時間放置しないでください。故障の原因になります。
- 2回目以降、電源を入れたときは下の画面が表示されます。

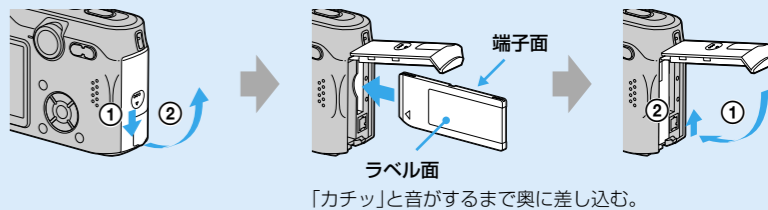


電源を切るときは

POWER ボタンを再び押す。

- バッテリー使用時に、電源を入れたまま一定時間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐために自動で電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

3 “メモリースティック”(別売り)を入れる



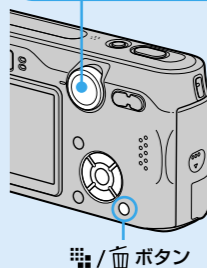
4 用途に合わせて画像サイズを決める

① モードを選ぶ。

静止画のとき

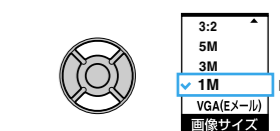


動画のとき



② 画像サイズを選ぶ。

▲/▼で画像サイズを選ぶ。



- 静止画のときの画面です。動画のときは[640 (ファイン)](“メモリースティック PRO”のみ)、[640 (スタンダード)]、[160]から選びます。

④ 画像サイズ)ボタンを押して、設定を終了する。

静止画の画像サイズについて

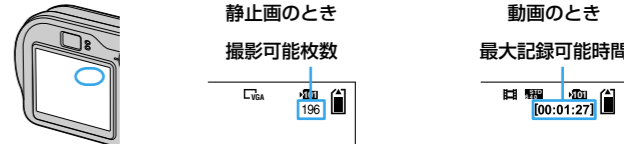
「画像サイズ」について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」11ページ

画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
7M (3072×2304)	A3サイズプリントやA4サイズ高精細プリントする場合	少ない	精細
3:2 (3072×2048)*			
5M (2592×1944)	A4サイズプリントやA5サイズ高精細プリントする場合		
3M (2048×1536)	写真のL判でプリントする場合		
1M (1280×960)	より多くの画像を撮影する場合	多い	粗い
VGA (Eメール) (640×480)	Eメールへの画像添付やホームページ作成用の場合		

* 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の横縦比で撮影します。

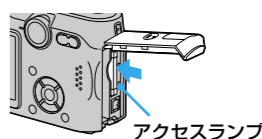
静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間

画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。
詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」19ページ



- 記録枚数は、撮影状況によって異なります。

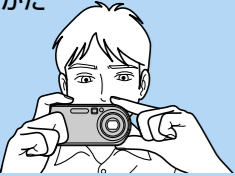
“メモリースティック”を取り出すときは



- カバーを開け、“メモリースティック”を1回押す。
- アクセスランプ点灯中は、絶対に“メモリースティック”を取り出したり電源を切らないでください。データが壊れることがあります。

5 簡単に撮る(オート撮影)

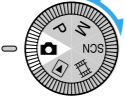
持ちかた



被写体をフレーム中央部におさめる。


1 モードを選ぶ。

静止画(オート撮影)のとき

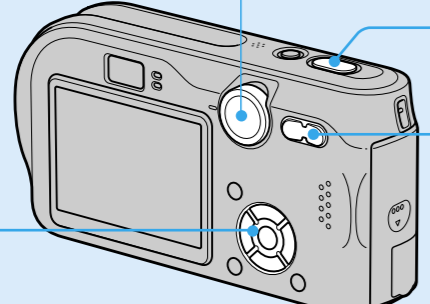


「**カメラ**」にする。

動画のとき



「**動画**」にする。

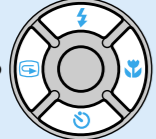


ズームボタン

コントロールボタン

コントロールボタンの機能を使うには

静止画のフラッシュモードを選ぶ



最後に撮った静止画を見る(クイックレビュー)

被写体に近接して撮る(マクロ撮影)

セルフタイマーで撮る

最後に撮った静止画を見る(クイックレビュー)

コントロールボタンの◀(Ⓢ)を押す。
やめるには、もう1度◀を押す。



- 表示直後は画像が粗いことがあります。
- 画像を削除するには、**削除**ボタンを押し、コントロールボタンの▲で[削除]を選び、●を押します。

静止画のフラッシュモードを選ぶ

手順②の前に、コントロールボタンの▲(Ⓢ)を押す。押すごとに、設定が変わる。

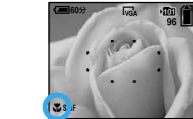


- 表示なし
- 光量不足/逆光と判別したとき発光(お買い上げ時の設定)
- 強制発光
- スローシンクロ(強制発光)
- 暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。
- 発光禁止

- フラッシュ推奨距離([ISO]が[オート]の時)
W側: 約0.2～3.5m
T側: 約0.3～2.5m
- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。

被写体に近接して撮る(マクロ撮影)

手順②の前に、コントロールボタンの▶(M)を押す。
やめるには、もう1度▶を押す。



- ズームをW側いっぱいにしてから撮ることをおすすめします。
- ピント合わせの範囲が狭くなるため被写体全体にピントが合わないことがあります。
- 通常よりもピント合わせが遅くなります。

レンズ先端からの撮影可能距離

W側いっぱいとき: 約6cm
T側いっぱいとき: 約30cm

セルフタイマーで撮る

手順②の前に、コントロールボタンの▼(S)を押す。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピピピピ」と操作音が鳴り、約10秒後に撮影される。



2 シャッターボタンで撮影する。

静止画のとき

半押ししてピント合わせ

AE/AFロック表示
点滅 → 点灯

深く押し込む

カシャ

AF測距枠

ピピッ

動画のとき

深く押し込む

録画を止めるには、もう1度シャッターボタンを深く押し込む。

ズームするには



- レンズの倍率(3倍)を超えると[デジタルズーム]になります。
[デジタルズーム]の種類と画質について→別冊「活用編・困ったときは」42ページ
- 動画撮影中はズーム倍率を変えられません。

静止画のピントがうまく合わないときは

- 被写体まで、約50cm以上の距離が取れないときは、「マクロ撮影」(左記)する。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピッ」と音がしません。構図を変えるなどしてください。

ピントが合いにくい被写体:

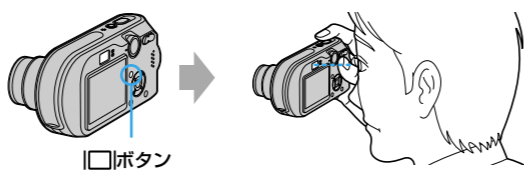
- 被写体が遠くて暗い
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- 点滅する被写体
- ガラス越しの被写体
- 逆光になっている被写体
- 高速で移動する被写体

画面の表示については

→別冊「活用編・困ったときは」14ページ

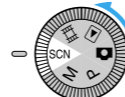
液晶画面を消すには

□(画面表示/液晶画面オン/オフ)ボタンを繰り返し押す。バッテリーの消耗を抑えたり、液晶画面で画像を確認しづらいときはファインダーを使ってください。



6 画像を見る/削除する

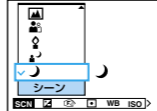
1 「SCN」にする。




MENUボタン

コントロールボタン

2 MENUボタンを押す。



3 ◀で「SCN」(シーン)を選び、▲/▼で撮影モードを選ぶ。



- 撮影モードについては、下をご覧ください。
- 選んだ設定は、電源を切った後も保持されます。

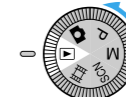
4 MENUボタンを押してメニュー表示を消す。

5 シャッターボタンで撮影する。

シーンセレクションを解除するには

モードダイヤルを「SCN」以外に合わせる。

1 「▶」にする。



コントロールボタン


削除ボタン

2 ◀(前)/▶(次)で画像を選ぶ。

静止画の場合: 画像サイズを表示
動画の場合: 再生バーを表示

動画を再生するには

●を押す。



再生バー

早送り/巻き戻し: ◀/▶
(通常再生に戻るには●)

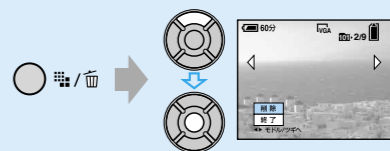
音量調整: ▲/▼

再生中止: ●

- 画像サイズ[160]で撮影した動画は、ひとまわり小さく表示されます。

画像を削除するには

- 削除したい画像を表示して**削除**ボタンを押す。
- ▲で[削除]を選び、●を押す。



削除を中止するには
[終了]を選び、●を押す。

シーンセレクションの撮影モード

あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。

 <p>夜景モード* 暗い雰囲気損なわずに、遠くの夜景を撮る。</p>	 <p>高速シャッターモード 明るい場所で、動きのある被写体を撮る。</p>
 <p>夜景&人物モード* 夜景をバックに、手前の人物を撮る。</p>	 <p>ビーチモード 海や湖畔など、水の青さを鮮やかに撮る。</p>
 <p>キャンドルモード* キャンドルライトの雰囲気損なわずに撮る。</p>	 <p>スノーモード 白い風景を明るく撮る。</p>
 <p>ソフトスナップモード 人物や花などを、優しい雰囲気撮る。</p>	 <p>打ち上げ花火モード* 打ち上げ花火をきれいに撮る。</p>
 <p>風景モード 遠景にピントを合わせ、遠くの風景などを撮る。</p>	

* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

コントロールボタンを使った機能をシーンセレクションと同時に使うには

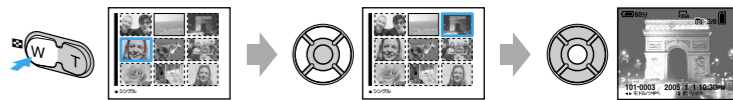
手順⑤で撮影する前に設定してください。モードによっては使えない機能があります。
使えない機能のボタンを押すと、ピピピと音が鳴ります→別冊「活用編・困ったときは」25ページ。

拡大して見るときは(拡大再生)

静止画を再生中にQボタンを押すと、ズームできる。Qで戻る。
ズーム位置変更: ▲/▼/◀/▶
ズーム中止: ●

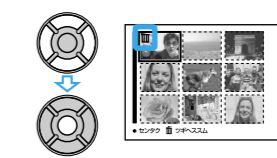
一覧(インデックス)表示で見るときは

□(インデックス)ボタンを押し、▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ。●を押すと、シングル画面に戻る。◀/▶を押し続けると、次の画面に移る。



一覧(インデックス)表示で画像を削除するときは

- 一覧表示中に**削除**ボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼で[選択]を選び●を押す。
- 削除したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、●を押して**削除**マークを付ける。



削除を中止するには
取り消したい画像を選んで●を押し、**削除**マークを消す。

- 削除**ボタンを押す。
- ▶で[実行]を選び●を押す。

- フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順1で▲/▼で[選択]の代わりに[フォルダ内全て]を選んで●を押してください。